

円頓寺商店街

(円頓寺商店街振興組合)

愛知県名古屋市西区那古野

ECサイトやテイクアウトにより 商店街の活性化に取り組む



取組の背景

新たな販売手法の確立と 市場の開拓が課題

新型コロナウイルス感染症の拡大で、商店街を利用する来街者は大きく減少している。また、祭りを始めとする各種イベントも中止となり、日常の売上のみならず、イベント特需も見込めない状況が続いている。住民の自粛生活の長期化や、新しい生活様式への対応が浸透することで、商店街への来街者は減少したままになる。また、コロナ禍が収束した後の販売手法も、従来通りの商店街への集客を前提とした商売は成り立たなくなる可能性がある。今後、売り上げ増加や、来街者増

を見込むことは厳しい環境となることが考えられ、新たな販売手法を確立し、市場を開拓していくことが課題である。

そこで、コロナ禍のなかでの新しい生活様式に対応できる、EC機能を搭載した商店街のオフィシャルウェブサイト立ち上げ、従来の来街による買い物に加え、商店街に来なくても商店街に来ているかのようにオンラインで買い物ができる環境を整備する。これにより、新しい商店街の楽しみ方を提供することで、地域住民のみならずエリアの制約を超え、商店街の新しい魅力発信に繋げる。

取組の内容

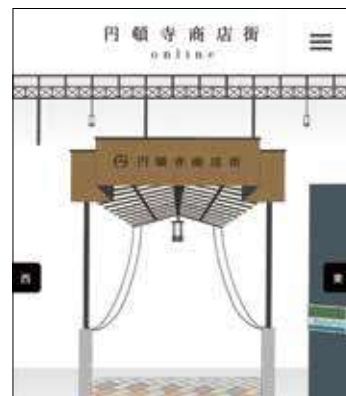
ECサイト開設により 商店街の魅力発信

新しい生活様式が浸透することに対応した、新たな販売手法を構築するため、円頓寺商店街のモール型ECサイト「円頓寺オンライン商店街」を開設し、各店舗が商店街のECサイト内で商品を販売できるようにした。これにより、商店街という個性ある店舗の集まりの魅力をネット上でPRでき、円頓寺商店街への認知や興味を喚起し、お買い物客や来街者の増加に繋げる。加えて、オンラインの利用のみならず、併せて現地へ足を運んでもらえることを生み出す。

サイトの主な特徴として、4点あげられる。①商店街の街並みを描いたイラストをインターフェイスとし、バーチャルな商店街めぐりをしながら、買い物ができる。②店舗ごとの決済ではなく、商店街で決済アカウントを設けたので、各店舗を買い回りしながら、決済を一括できる。③ユーザー登録してもらい、お客様の会員化を図り、イベントやショップについての情報サービスを届ける。④オンラインでのキャッシュレス決済機能と実店舗での商品受け取りの両方を選べるようにし、オンラインから実店舗への誘導を行う。

また、新しい生活様式に対応するため、円頓寺商店街

のさまざまな飲食店で弁当やテイクアウトメニューが用意されることから、飲食店の料理を事前注文・テイクアウトまたはデリバリーで利用できる仕組み「円頓寺商店街



円頓寺オンライン商店街



円頓寺商店街TAKE OUT

TAKE OUT』も開設。ウェブサイトにランダムに表示される料理のほか、各店掲載のメニュー表から希望の料理を選び、販売店に電話注文する仕組みで、店舗での受け

取りかデリバリーを選べる。店舗情報の掲載でなく、料理で選べるように料理写真が表立って見えるようにした。

取組の成果

新規顧客の獲得と利便性の高いサービス提供の実現

ECサイト『円頓寺オンライン商店街』を新たに立ち上げ、商品をわかりやすくかつ、興味を持たせる内容とし、新たな販路開拓、販売手法の確立ができた。これにより、新たな顧客獲得につながった。

商店街という個性ある店舗の集まりの魅力 nett 上でPRできたことで、オンラインのみならず、商店街への来街者数も増え、歩行者通行量は取組前と比べて3%増加した。

『円頓寺商店街TAKE OUT』により、商店街の顧客へ新たな生活様式における利便性の高いサービスの提供ができた。

実施体制

理事会内に理事長・専務理事・事務局長・インベント統括で組織するECサイト事務局を統括し、事業を統括管理し、高齢者やネットが苦手な店舗をフォローする。

ECサイト『円頓寺オンライン商店街』のデザイン

やシステム要件定義・構築は外部に委託している。

2007年に有志団体『那古野下町衆(那古衆)』を結成し、若手店主達と、建築家、大学教授らとともに理事長も参加。

キーパーソンからのコメント

いつも楽しいにぎやかな商店街であり続けたい

商店街を取り巻く環境はコロナ前から大きく変化しています。近隣コミュニティを中心とした普段使いの来街者数の減少が続くなか、集客をイベントで補ってきましたが、コロナでその問題は明白になりました。いつまでも変わらない「楽しいにぎやかな商店街であり続ける」ためには、我々にも変化が必要です。その変化の一つが「円頓寺オンライン商店街」です。‘商店街の

DX’とお題目を掲げ、リアルでアナログなつながりに加え、バーチャルでデジタルなつながりと、さらにその融合で、商店街の新しいコミュニティを形成することを目指しています。

コロナやエリアの制約を超えた‘新しい楽しみとつながり’を提供し、「いつも楽しいにぎやかな商店街であり続けたい」と願っています。



円頓寺商店街振興組合 理事長 田尾大介

商店街の概要

円頓寺商店街は、城下町の風情があり、名古屋駅に近いことからマンション建設が進み、商店街周辺の人口は増加傾向にある。一方で、地域住民の商店街の利用頻度低迷、少子高齢化の進展から、新たな客層の開拓や、空き店舗対策が大きな課題であった。そのため商店街活性化のための組織が必要と、理事長を中心にさまざまな業種で構成した「那古野下町衆」を2007年に発足。以後この組織を中心に、地域住民の声を活かし、商店街に足りない業種の出店に加え、地域と調和した店舗づくりのサポートを推進。空き店舗の解消とともに、地域住民と連携した商店街づくりを促進している。

所在地 愛知県名古屋市区那古野
人口 約15万人(西区)
電話 052-551-6800
FAX なし

URL <https://endojishotengai.com/>
会員数 30名
店舗数 30店舗(小売業10店、飲食業15店、サービス業2店、その他3店)

商店街の類型 複合型
主な客層 主婦、サラリーマン
／50歳代、40歳代